

春色の狭山丘陵を歩く(菩提樹の一本桜を見る)

2019.4.10 記 佐藤 八郎

■実施日 2019年4月4日(木)10:00～12:40

■参加者 18名

午前10時、快晴の西武球場駅前に会員14人、他サークル1人、26期市民大学生2人、一般参加者1人の18人が集合する。満開の駅周辺の染井吉野を眺めながら出発する。

狭山湖畔霊園に向かう急坂を上り菩提樹方面の道標付近から山道に入る。周辺の林は手入れがなされ、眺望も良く安全面からも好ましい話だ。観音像を右折して石段を下るとそこは菩提樹池である。大勢の保育園児が遊びに来ており普段は静かな池の周辺が賑わっている。



トトロの森 19号地付近 案内標識



菩提樹池



「菩提樹田んぼの会」が復旧させた田圃



菩提樹の一本桜を見る

この池を利用して「菩提樹田んぼの会」が復田した田圃で稲作に励んでいる。畦道を抜け山道を上ると目指す桜の古木が見えてきたが、残念ながら満開は過ぎ葉桜になりつつある。この山桜は昨年の「太平記を学ぶ」講師の新田隆昭さんより新田義貞ゆかりの古木として紹介されたものです。

暫く楽しんでからいきものふれあいの里センターに向かう。山道を下るとアルペンロードと交差する。ロードには狭山湖より東京都に向けて水道管が埋設されている。ゴルフ場脇の急坂を上り切り、ゴルフ場の満開の桜を眺めながら一休みする。この付近は貉入りと言い山の斜面にトトロのトラスト地が5ヶ所あり、管理された木々の芽吹きが美しい景をなしている。

下り切ると多摩湖から来る道に出るがこの道は鎌倉街道小手指道の一部である。狭山丘陵にしては起伏の多いコースを歩き12時頃センターに到着する。予定より遅れたがセンター職員にお願いして周辺を案内していただく。運の良いことに快晴と気温の上昇でカタクリが見事に咲いている。カタクリの花が咲くまでは7~8年も要するとの由、また気温と開花の関係など初めて聞く話は面白い。

クロモジやコナラなど芽吹き始めた木々の説明を受け12時40分頃散開する。



7年に一回咲くと聞く **カタクリの花** (いきものふれあいの里センター脇の斜面に自生)